



こんにちは ひぐち英明です

422号 2022年8月21日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：ひぐち英明 検索

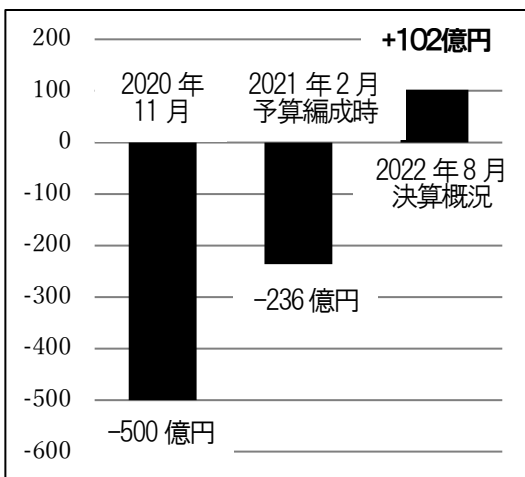
仕事・いのち・くらしに希望を

2021年度の決算概況が示される

実質102億円の黒字状況

8月に発表された2021年度の決算概況によると、実質102億円もの黒字という状況ということが分か

2021年度の財政収支見通しの変遷



「行財政改革計画」をつくる過程で、市長は「毎年500億円以上の赤字」で「京都市の財政は破たんしかねない」と言っていました。

一乗寺松原町での土砂流出への対応求め 住民有志のみなさんが署名活動



7月19日の大雨で、左京区一乗寺松原町で、昨年に続いて、大量の土砂が道路や民地へ流出。地域の有志のみなさんが、府に

府に對策を求め署名を集めていきます。私も行政の緊急対策を求めています。

敬老乗車証アンケートの報告集会

改悪撤回を求める取組を強めよう

500億円以上の赤字と102億円の黒字。財政収支の見通しが、単年度で600億円も違ってきます。こんなデータラメな「収支

見通し」を根拠に「行財政改革計画」がつくれ、あらゆる市民負担増と公的責任の放棄が行われつつあります。

その一方で、北陸新幹線などのムダな大型事業は次々と進めようというのですから、全く許せません。

写真トピックス



左京の共産党府市会議員4人そろって議会報告宣伝



→原水爆禁止世界大会にオンラインで参加

ひぐち英明 ホッと・コム

原水爆禁止世界大会が3年ぶりに開かれました。この大会に長男(大学3年)が参加してきました。

帰ってきて話していたのは、「核兵器の非人道性を伝えることが大事」とのこと。核兵器にしがみついている理屈に対して、何か理論的に反論するよりも、どれだけ残酷な兵器なのか、ということを示すことが、一番説得力がある、と感じたよう

私が共産党の活動を続けてきた原点にあるのも、被爆者の方から話を聞き出した経験です。その方は、自分がいつ病気になるかもしれない、という思いを持って生きてきたこと、子どもが病気になる時も「自分の被爆のせいかもしれない」と苦しんだことなどを話されていました。

特に印象に残っているのが、自分が被爆したのは事実だから、人に「被爆した」と話すことは「当たり前」のことのはずなのに、偏見がこわくて長い間、「当たり前」の話を話さない、結婚した後も家族にすら言えなかった、との話です。

その瞬間に大量の命を奪っただけでなく、その後、何十年にもわたって人を苦しめ続ける核兵器。この兵器の廃絶を求めて、被爆者のみなさんが粘り強く運動を続けてきたことで、世界の世論を動かす、核兵器禁止条約が成立しました。核廃絶への道のりが開けてきています。



河合ひろこ議員が市議員団を代表してあいさつ

「敬老乗車証を守るろう！連絡会」のみなさんがアンケートの集約結果報告会を開きました。今年10月から、年間の負担金が2倍に引き上げられることをうけて、使い続けるかどうかなどを聞いたア

ンケート。現在は、対象の5割程度の方が受け取っていますが、それが3割程度まで落ち込むという結果に。高齢者が気軽に外出できなくなっています。優れた福祉施策である敬老乗車証を守るために、粘り強く取り組みを確認しあいましょう。